

新藤兼人賞
SHINDO KANETO AWARDS



第7回新藤兼人賞

2002年11月1日 SHIBUYA-BOXX

主催：協同組合 日本映画製作者協会

特別協賛：富士写真フィルム株式会社／報映産業株式会社

(東京国際映画祭提携企画 トーキョー・フィルム・マーカーズ・コンベンション)

企画：株式会社電通 制作：フロンティア・インターナショナル

審査員委員会

岡田 裕／佐々木史朗／進藤淳一／利倉 亮／増田久雄／安田匡裕／李 凤宇

金 賞

橋口亮輔 『ハッシュ！』 監督・原作・脚本



受賞者プロフィール 92年『二十歳の微熱』で劇場用映画デビュー。劇場の記録を塗り替えるヒットを記録。『渚のシンドバット』（'95）は、ロッテルダム映画祭、ダンケルク映画祭でグランプリを獲得、他国内でも数々の賞を受賞。小説・エッセイ集執筆の他、舞台、テレビ、映画の脚本等も多く手掛ける。

『ハッシュ！』

監督・原作・脚本・編集：橋口亮輔

企画：山上徹二郎 製作：山上徹二郎/石川富康/塚田博男 プロデューサー：渡辺栄二

撮影：上野彰吾 照明：矢部一男 美術：小川富美夫 音楽：ボビー・マクファーリン 衣装：宮本まさ江 録音：高橋義照

出演：田辺誠一/高橋和也/片岡礼子/秋野暢子

製作：シグロ 配給：シグロ

劇場公開日 2002年4月27日 135分

『渚のシンドバット』以来5年ぶりとなる橋口亮輔の監督第3作。ゲイのカップルとひとりの女性が、自分たちなりの“家族”を築こうとする姿を笑いも交えた伸びやかなタッチで浮き彫りにする。2001 カンヌ国際監督週刊正式招待作品。世界30カ国でのロードショーが決定している。

銀賞
西川美和『蛇イチゴ』監督・脚本



受賞者プロフィール 『ワンドフルライフ』（是枝裕和監督）について依頼、『M/O T H E R』（諏訪敦彦監督）、『黒い家』（森田芳光監督）、『人間の屑』（中嶋雄彦監督）、『ディスタンス』（是枝裕和監督）等に助監督として携わる。本作が第一回監督作品となる。

『蛇イチゴ』

監督・脚本：西川美和

プロデューサー：是枝裕和 撮影：山本英夫 美術：磯見俊裕 編集：宮島竜治 音楽：中村 俊 カリフラワーズ

出演：宮迫博之/つみきみほ/平泉成/大谷直子/手塚とおる/絵沢萌子/寺島進/塙原徹/笑福亭松之助

製作：『蛇イチゴ』 製作委員会（バンダイビジュアル / エンジンフィルム / テレビマンユニオン / シースタイル / IMAGICA） 配給：ザナドゥー

劇場公開日 2003年9月6日 108分

一見ごく平凡で幸福そうな一家に、10年間行方不明だった放蕩息子が戻ってきたことによって、彼らを支えてきた善と悪の価値観が脆くも崩れ去っていく。家族の反目と和解、そして混沌をシニカルに描く傑出したホームドラマ。

審査委員長総評

岡田 裕（アルゴ・ピクチャーズ）

七回目を迎えた「新藤兼人賞」は年々応募作品の質も向上し、プロデューサーの選ぶ新人監督賞として業界内に定着してきたようである。

今回はメジャー作品も含めた応募があり、7人の審査員が厳正に審査した結果“金賞”に橋口亮輔監督の『ハッシュ！』を、“銀賞”に西川美和監督の『蛇イチゴ』を選出した。『ハッシュ！』は新人賞というよりも昨年度の日本映画の中でも屈指の傑作ではあり、10年前にデビューした橋口監督に今更新人監督賞もないのではないかという意見もあったが、ちゃんと応募資格を満たしており、人と人を見つめる視線の新鮮さ、的確な語り口、美しくクールな映像などで審査員の支持を得た。惜しかったのは『蛇イチゴ』で審査会の最初の段階では『ハッシュ！』と殆ど同等の評価があり、どちらを金賞にするかで議論が闘わされた。祖父の葬儀を通じて色々な事実が暴露され、次第に崩壊していくある平凡な家族を描いた作品だが、魅力的なキャスティングと俳優たちの抑制の利いた演技力には感心させられた。次回作を期待すること大である。もう一本、富樫森監督の『ごめん』も評価の対象に上がったが、今度、自分の身の丈を超えた世界をどのように描いていくかをみてからという意見で授賞には至らなかった。喜劇やサスペンス、スリルもの等、色々な応募作品があつたが、やはり我々プロデューサーが評価したのは、面白く新鮮な人物像が描かれている作品であった。

2002年度審査委員会

委員長 岡田 裕

審査員 佐々木史朗（オフィス・シロウズ）（ホテルハイビスカス、ナビィの恋、コンセント、ごめん、アンテナ、他）

進藤淳一（フィルムフェイス）（化粧師、鉄道員、秘密、大河の一滴、巖流島、命、他）

利倉 亮（レジエンド・ピクチャーズ）（HYSTERIC、不確かなメロディ、DOG STAR、Mrs. 他）

増田久雄（ブルミ工・インターナショナル）（高校教師、ラヂオの時間、宣戦布告、みんなのいえ、他）

安田匡裕（エンジンネットワーク）（はつ恋、ekiden、ココニヨコト、Quartet、SEOUL、卒業、深呼吸の必要、他）

李 鳳宇（シネカノン）（月はどっちに出てる、ビリケン、のど自慢、KT、ゲロッパ！、他）